

書籍『まちに生きるローカル商店 14 事例にみる生き残りかた』刊行 2月24日(火) 記念トークイベントを開催します

独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）の若手職員が、「URローカル商店研究会」と銘打ってまちの魅力や個性をつくる「ローカル商店※」の調査、研究等を行っています。研究成果を取りまとめた書籍『まちに生きるローカル商店 14 事例にみる生き残りかた』を、令和8年1月30日（金）、ユウブックスより刊行しました。本書では、まちのなかに生き残る「ローカル商店」の14事例を紹介し、固有の魅力や生き残りの工夫、まちや人との関係性について分析・考察しています。

この度、書籍の刊行を記念したトークイベントを令和8年2月24日（火）にノウドひきふね（墨田区東向島）で開催することとなりましたので、お知らせします。書籍で紹介しているローカル商店の店主の方も登壇し、各人の想いや取組みを紹介いただきながら、まちとローカル商店の関係性について考えることをテーマとしています。ぜひご参加ください。

※ローカル商店…チェーンやフランチャイズではない一点もので、長年の常連客がつくような地域に根差して経営されている店や施設を本書では「ローカル商店」と呼称。

<イベント概要>

日時	令和8年2月24日（火）18:00～19:30（17:30 開場）
場所	ノウドひきふね （墨田区東向島 2-29-13／東武スカイツリーライン曳舟駅から徒歩1分）
登壇者	ハト屋パン店 紙田 和代氏 ぐりーんハウス 除村 千春氏 瀬戸酒造店 森 隆信氏 トーン&マター 広瀬 郁氏（ファシリテーター） UR都市機構 佐竹 春香
開催形式	対面（定員20名程度）・オンライン配信あり
参加費	無料
申込方法	以下のフォームよりお申込みください https://forms.cloud.microsoft/Pages/ResponsePage.aspx?id=DQSIkWdsWOyxEjaJBLZtrQAAAAAAAAAAAAAADVd3BRUMDJCM0dKSEVWSFgzWENPTTA2RIBHWTJVJOS4u&orig=in=QRCode 



<書籍概要> 書店・オンラインにて販売中

編著者	URローカル商店研究会 ※UR都市機構内にて若手職員を中心に発足。まちの魅力や個性をつくる一要素である「ローカル商店」を研究する。
出版社	ユウブックス
定価	2,300 円＋税
ページ数	四六変判・228 頁・カラー頁多数
ISBN	978-4-908837-17-3 C0036
内容	銭湯、駄菓子屋、豆腐屋、文具店…。まちに暮らす人々とともに生きながら、その“まち”らしい風景を生み出す“ローカル商店”は、まちの魅力をかたちづくるもの。 本書では経営危機を乗り越えた14軒のローカル店の復活ストーリーと生き残りの工夫をまとめた。各店の生き残り術を抽出したポイント、年表やデータも掲載。 まちづくり・事業承継に興味のある人に向けた、魅力的で持続可能なまちの実現を目指すための一冊。 【掲載事例】 1 サウナの梅湯（京都府京都市） 2 安達屋（東京都世田谷区） 3 スナック水中（東京都国立市） 4 金澤屋商店（群馬県高崎市） 5 ぐりーんハウス（東京都町田市） 6 亀甲館写真（神奈川県逗子市） 7 文化堂（福島県福島市） 8 瀬戸酒造店（神奈川県足柄上郡） 9 まぼろし商店／烏森百薬（東京都港区）／キッチンビーバー（東京都千代田区） 10 吉開のかまぼこ（福岡県みやま市） 11 明治屋ゆかり店（新潟県新潟市） 12 神田珈琲園（東京都千代田区） 13 善通寺 構内食堂（香川県善通寺市） 14 ハト屋パン店（東京都墨田区）



【本件に関するお問い合わせ先】

UR都市機構 東日本都市再生本部 総務部（広報担当） 03-5323-0625

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害対応支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



—— 社会課題を、超えていく。——



UR都市機構



UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。